

言語文化研究科(各専攻共通)

2023年度 第I期入学試験問題 小論文

(一般入学試験)

次の問題 1 あるいは問題 2 のいずれかの問題を選択して解答しなさい。
(選択した問題の番号を解答用紙に記載すること。)

問題 1 次の文章を読み、問 1 および問 2 に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

- 問1. 下線部(1)「『あるがまま』『自然のまま』といった言葉は、日本から西洋に発信できる超高齢化社会の重要なキーワードとなるかもしれません」と述べていますが、これについて筆者の考えを400字以内で簡潔に述べなさい。
- 問2. 筆者は「自然のままに」という言葉について、下線部(2)「日本人にはとても感じの良い言葉に思えますが、アメリカ人にとっては、基本的にはネガティブな言葉」であると述べています。これについて自分の意見を600字以内で述べなさい。

問題2 次の文章を読み、問1および問2に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

出典：最上敏樹 著「世界隔離を終えるとき」村上陽一郎 編『コロナ後の世界を生きる 私たちの提言』、岩波書店、2020 年

問1. 下線部(1)の「新しい世界に向けた再出発」とはどのようなものですか。筆者の主張を 400 字以内で簡潔に説明しなさい。

問2. 下線部(2)の「来るべき世界のための資本」としての「深い精神的連帯」とはどのようなものですか。筆者の意見を踏まえたうえで、あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。